



はばたけ立花中

第13号 平成30年10月2日

編集責任者 校長 城後 慎一

【重点目標のキーワード】 〔当面の目標〕生徒会を中心に立花中文化を確立しよう！
表現力・主体性の育成 自分から「気付き」「考え」「実行する」とともに、相手と自分のために、あいさつと感謝を大切にできる素直な生徒

行事は日常生活に生かされ、日々の成長が次の行事に生かされて育つ立花中生徒

【本校体育大会（5月）の目標の一つ】
規律ある集団行動の中で、協力や競争の経験を通して、より活発な実践的行動や態度を育てる。

日々の学校生活

【本校文化発表会（10月）の目標の一つ】
心をつなげて歌うことの喜びを味わわせるとともに、学級集団等のつながりを深める。

時間を守る・集中して話を聞く・掲示板を見て動く

体育大会のブロックごとでの基礎学力コンクールの教え合い等

当たり前のことを当たり前にする価値に気づく
当たり前のことを当たり前にする先輩として存在する

発表会までの取組の善し悪しが、生徒の成長に大きな影響を及ぼします。

上に示している図は「学校だより第4号」で示したものです。文化発表会は単に上手に歌えることだけを目標としていません。音声の高低、指揮や伴奏等の役割分担や、パートリーダーの指示を聞いたり、練習計画を練り直したりして、みんなで一番いいパフォーマンスを発揮するという意識を持つことで、生徒同士の横のつながりを強めていきます。



級友を認め、互いの苦手なところをカバーし合うことができた学級が、その後の学校生活、勉強や入試に安心して臨める力となることは容易に想像できると思います。

1つのことの成功にみんなで協力するという「学級の正義」を貫ける立花中生徒であることを切に願います。

一流であり続ける理由

9月28日（金）に、本校の体育館で、文化庁による芸術普及活動の一環として東京佼成ウィンドオーケストラによる演奏会を行いました。

日本を代表するオーケストラですから演奏が素晴らしいのは当然ですが、観客の楽しませ方や私どもと接する際の一つ一つの態度の素晴らしさ、それでいて「窓は基本的に開けない」「紙をめくる音もなくす」という徹底した音へのこだわり等、妥協を許さずに一流を貫き通す「誇り」を感じました。

演奏では、ウィンドオーケストラの演奏で本校の生徒が「翼をください」を歌う企画やブラスバンド部との共演の企画もありました。プロの演奏者の真横で生音を聞きながら演奏をした生徒はどんな感想を持ったのでしょうか。一生の中でもそう無いであろう体験をしっかりと財産にしてほしいと思います。

最後にはサプライズで本校の校歌を演奏していただき、最後まで楽しく、感動させられ、素晴らしいプロ意識を十分に堪能することができました。



石橋由圭先生のこだわり

今回の演奏会の下準備から当日の運営まで中心になって担当者と打ち合わせをしたのが音楽担当の石橋先生です。

石橋先生は「生徒たちに本物を体験させたい」と前任校でもこの演奏会を実施されたそうです。石橋先生自身も若い時は、ソリストとして福岡でコンサートを開いていた経歴の持ち主です。

音楽の授業では、持ち前の響く声で生徒を盛り上げて、楽しく真剣に展開しています。ブラスバンド部の生徒いわく、「ユーモアがあって圧が強い！」とのことですが、何事にも一生懸命で、真剣に生徒と向き合う、熱心な先生です。

音楽以外に、教務担当の主幹教諭として学校全体の学習の進捗や内容の確認を担当しています。



10月1日（月）に行われた筑後地区新人陸上大会で砲丸の中村如位さんが8m81cmで準優勝しました。原総英さんと牛島颯人さんは、残念ながら県大会を逃しましたが精一杯頑張りました。県大会は10月21日（日）に行われます。

